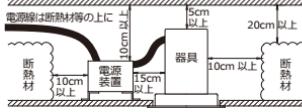


# LED電源ユニット 施工・取扱説明書

品番 SZA10002/SZA10003/SZA10004/SZA10005/SZA10006  
**【非調光 定電流直流電源装置】**

お客様へ	●施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。 ●施工前に安全上の注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。 ●ご使用の前に安全上の注意と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。 ●本説明書は大切に保管してください。
工事店様へ	

## 安全上のご注意 必ずお守りください

警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。
この器具は、屋内の別置形です。指定場所以外には取り付けないでください。火災・落下の原因となります。 断熱材防音材をかぶせないでください。過熱して火災の原因となります。	断熱材施工不可  断熱材施工の場合は、右図のように断熱材・防音材との距離をとって施工してください。 
電源ユニットにその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。	アース工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って確実におこなってください。アースが不完全な場合は、感電・火災の原因となります。 
LED電源ユニット本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。	器具の改造、電気部品の変更、交換は行わないでください。感電・火災・落下等の原因となります。 
屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営材・ダクトに直接触れないように施工してください。施工に不備があると、火災・感電の原因となります。	電源電圧は、電源ユニット銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。低電圧または過電圧を加えると器具の寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。
器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。 火災・感電・落下の原因となります。	煙・臭い等を感じたら、すぐに電源を切ってください。 火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社にご相談ください。 
この器具は防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。感電・火災・落下の原因となります。	
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。
取付には、電気工事が必要です。電気工事は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。 一般の方の工事は法律で禁止されています。	周囲温度-5~35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。
乾燥が不十分なクロス貼、コンクリート面に取り付けないでください。感電の原因となります。	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ取り付けないでください。火災の原因となります。
照明器具の寿命は、使用条件・環境により異なりますが一般的な使用条件（周囲温度30℃、1日10時間点灯）において約8~10年です。各部品の劣化も進みますので数年に1度は電器店・電気工事店での点検をおすすめします。不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置しますと火災・感電・器具故障の原因となります。	

## LED電源ユニットについて

- LED器具、LED電源ユニットの近くでほかの光高周波式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- LED器具、LED電源ユニットの近くで室内アンテナを使用するテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音等が発生することがあります。
- 電源ユニット・LED器具交換の際は、必ず電源を切つてから行ってください。器具故障・感電の原因になります。
- 一次側無負荷通電状態からLED器具を接続する場合は、電源を一旦切つてから1分以上たってから接続してください。器具故障の原因となります。
- 調光時は、LED電源からわずかにうなり音が発生しますが異常ではありません。
- 旧タイプの漏電ブレーカーではトリップする場合があります。この場合は高周波対応形漏電ブレーカーをご使用ください。ご使用の場合には、感度電流の設定値にご注意ください。

## ご使用上のご注意

- LED電源ユニットの放熱穴などに金属類（針金類）を絶対に差し込まないでください。感電・故障の原因となります。

## アフターサービスについて

- アフターサービスについて  
保証書  
保証書が必要な場合は弊社までお申し付けください。
- アフターサービスについての不明な点は  
修理に関する相談ならびにご不明な点は、弊社までお問い合わせください。

## 取扱説明

## 施工説明

工事店様へ : 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

本説明書は必ずお客様にお渡しください。

- 【仕様】
- このLED電源ユニットは屋内専用です。
  - 天井内で横転・逆転しないように設置してください。(木ネジなどで固定してください)
  - 断熱施工不可です。

- 調光器との併用はできません。(非調光形)
- 当社指定の器具と正しく組合わせてご使用ください。

※LED照明器具の並列接続はできません。

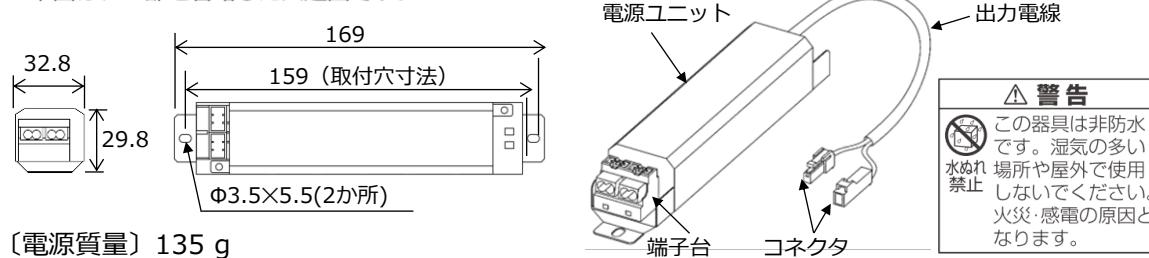
品番	二次側電流	入力電力	入力容量	二次電圧	入力電圧	二次側電圧範囲
SZA10002	350 mA	6.3 W	6.3 VA	12 V	100V 50/60Hz (兼用)	2.5 ~ 15 V
SZA10003	450 mA	7.8 W	7.8 VA	12 V		2.5 ~ 15 V
SZA10004	600 mA	10.2 W	10.1 VA	12 V		2.5 ~ 15 V
SZA10005	350 mA	14.1 W	14.1 VA	36 V		22 ~ 42 V
SZA10006	450 mA	18.3 W	18.3 VA	36 V		22 ~ 42 V

- 端子台定格[20A]
- 高力率
- 二次側最大延長[2m]
- 定電流型

※電気特性値は上記の二次電圧(負荷)での値です。使用的LED照明器具によって変化します。

### ◆各部の名称

※下図は、一部を省略した共通図です。

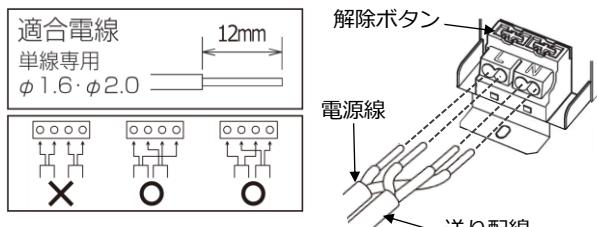


### ① 取付け前の注意事項について

- 電源ユニットの重量に充分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
- 施工に関しましては電気設備技術基準・内線規定に従って行ってください。
- 出力線を持って持ち運びしないでください。

### ② 電源を接続する

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 適合電源を使用し指定の寸法に段むきしてください。
- 適合電源を奥まで1本ずつ確実に差し込んでください。  
△接続が不完全な場合は、火災・感電の原因となります。
- 200V以上で使用する場合は、D種(第3種)設置工事を行ってください。

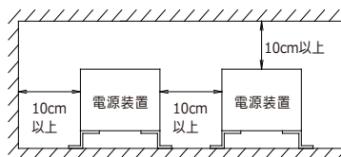


### 【電源線を取り外す場合】

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

### ③ 電源ユニットを取付ける

- 電源ユニットは横転・逆転しないように施工してください。
- 音響線・アンテナ線・アース線等から1m以上離してください。
- 2台以上並べて設置する場合は、電源ユニット及び造営材の距離は10cm以上離して風通しに注意してください。



### ④ 照明器具(別売)を取付ける

- 照明器具(別売)の施工・取扱説明書にしたがって施工してください。

### ⑤ コネクタを接続する

- 器具のコネクタと電源ユニットのコネクターを接続してください。  
△接続が不完全な場合は、火災・感電の原因となります。  
△通電状態でコネクタの着脱を行わないでください。  
器具故障の原因となります。

### ⑥ 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。